

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-149	小学校	国語科	国語	第5学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	国語 505 国語 506	ひろがる言葉 小学国語 五上 ひろがる言葉 小学国語 五下		

## 1. 編修の基本方針

本教科書は、教育基本法（第二条の第1～第5号）に示された「教育の目標」と、学習指導要領に示された「教科目標」の達成を目指し、以下の方針に基づいて編修しています。

- ・身近な言語活動を通して、幅広い知識と教養を身につけます。
- ・自己の価値を尊重し、創造性を培います。
- ・公共の精神に基づいた、主体的な社会参画を促します。
- ・自然の仕組みを題材にした教材を通して、生命を尊び、自然を大切にする心を育てます。
- ・国際社会の平和と発展に寄与するとともに、我が国の伝統文化を尊重する態度を養います。

### 楽しく学び、言葉の力がつく教科書

言葉を豊かに学ぶことは、学び手が**主体的に言葉に関わり、言葉の力を協働的に獲得**していく行為です。

主体的に学ぶためには、そこに学ぶ楽しさがあるはずで、楽しみながら、心を育て、世界観を広げられる、**価値ある題材**との出会いを大切にして教材を選びました。

また、言葉を学ぶことは、単に技術を学ぶことではありません。自己を主体的に築くための母語を獲得し、協働的に生きていく民主的人格が育まれるためにも、**言葉の学びは必要**なのです。

これからの社会を生きる子どもたちは、さまざまな課題に直面します。多くの情報があふれる現代社会において、**情報とどのようにつきあっていくか、社会をいかに持続可能なものとしていくか、多様な人々が自分らしく生きる権利をどのように守るのか**。学び手が学ぶ楽しさを感じながら、言葉の力を獲得していくことで、これらの課題を解決する力を自ら獲得できるよう、この教科書を編修しました。



### 豊かな言葉の学びに向けた編修の特色

#### ◇当該学年の学びのストーリーを大事にした教材配列

教科書を使って1年間の学習をしていくことは、学習者にとって、1年間の「言葉の学び」という物語の中を生きることです。それぞれの物語どうしが、学校という、**他者との協働の場**でいかされるように、それぞれの単元が相互に関わるように並べることで、**学習の流れや必然性を大切**にして、各領域が自然に結びつ

くようにこころがけました。

◇課題の設定、解決・探究ができる学習過程の提示と、効果的な学びを生むための重点過程の明示

各単元や教材の冒頭で学習意欲の喚起を行い、学習のてびきは、深い学びへと導くことを意識して構成しています。単元を通じて、学び手が、より能動的・探究的な学びができるような活動の流れをつくりました。

また、話す・聞く、書く教材においては、特に重点としたい学習過程を明示し、その単元の学びにおいてつきたい力がわかるようにしました。これにより学習指導の効率化が図れ、学習者にとっての効果的な学びを実現します。

◇思考力、判断力、表現力等と、それを支える知識及び技能の有機的な結合

領域の学習内容を豊かに学ぶための言語活動を、より活性化するための知識・技能を、単元間の小教材や付録で示しました。また、思考を整理したり、まとめたり、可視化したりするためのふせんやカード、ノートの使い方など、学習のツールを多く例示しました。

◇豊かな言葉の基礎となる読書教材、語彙教材の拡充

豊かな言葉の学習は、さまざまな本を読み、多様な言葉にふれることで広がります。各単元の学習から読書体験へとつながるよう、幅広いジャンルを対象として、紹介図書を充実させました。

また、日常の言語生活や他教科の学習での使用に資するよう、語彙を豊かにするための工夫も施しています。

教材の選定について

◇日常の学習に活用

⇒『「情報ノート」を作ろう』(五上)

◇主体的な調べ学習、メディアリテラシー(ICT)

⇒『新聞を読もう』(五上)・『言葉と事実』(五上)

『まんがの方法』(五下)

『ひみつを調べて発表しよう』(五下)

◇地域に根ざす

⇒『「町じまん」をすいせんしよう』(五上)

『ポスターを作ろう』(五上)

『世界遺産 白神山地からの提言——意見文を書こう』(五下)

◇生き方を問う(生命・人権)

⇒『大造じいさんとがん』(五上)

◇持続可能な開発のための教育(ESD)

⇒『AIとの暮らし』(五上)

『世界遺産 白神山地からの提言——意見文を書こう』(五下)

◇言語文化

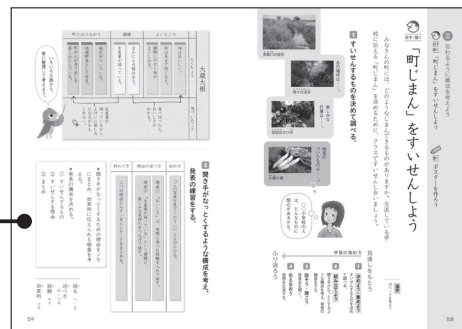
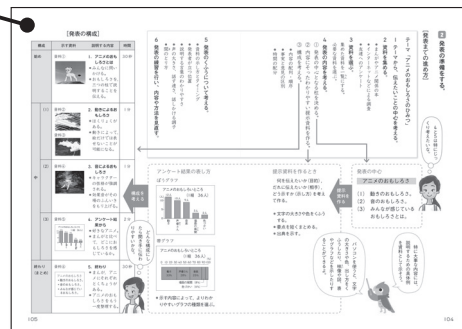
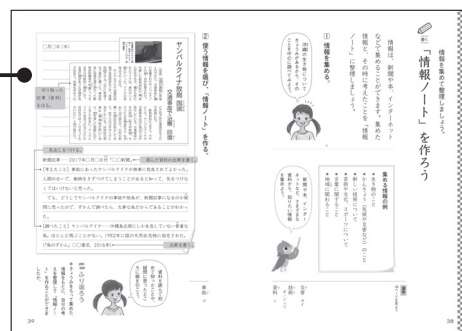
⇒『漢文に親しむ』(五上)・『「古典」を楽しむ』(五下)

◇複数領域融合単元

⇒「伝わるように構成を考えよう」(五上)

「多様な情報を読み、根拠となる資料にもとづいて、考えを深めよう」(五下)

『「まんがの方法」とその効果について、自分の考えをもとう』(五下)



## 2. 教育基本法との対照表

### 教育基本法第二条

- 〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- 〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

	図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
言語・情報	<p>■五上 「情報ノート」を作ろう 「町じまん」をすいせんしよう AIとの暮らし</p> <p>■五下 世界遺産 白神山地からの提言——意見文を書こう ひみつを調べて発表しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●『「情報ノート」を作ろう』では、新聞や本、インターネットなどで集めた情報と、それらについて考えたことをノートに整理する。資料を貼付し、自分で考えたことや調べたことを記載することで、情報の扱い方を知り、真理を求める態度を養う。〈第1号〉</li> <li>●『「町じまん」をすいせんしよう』『AIとの暮らし』は、調べたことを発表したり、話し合ったりする学習である。説得力のある順序立てや、相手の反論を想定して意見を組み立てることで、自ら調べ、幅広い知識と教養を身につける態度を養う。〈第1号〉</li> <li>●『世界遺産 白神山地からの提言——意見文を書こう』では、世界自然遺産に登録されている白神山地について、さまざまな情報を読んで考えを深め、意見文を書く。恵み豊かな自然を守ってきた先人の森との関わり方を学び、自然を大切にできる態度を養う。〈第4号〉</li> </ul>	<p>上 P38-39, P58-61, P112-117</p> <p>下 P6-19, P102-107</p>
	<p>■五上 漢字の広場① 漢字学習ノート／話し言葉と書き言葉／漢文に親しむ／敬語／漢字の広場② 複合語／鳥／漢字の広場③ 熟語の構成／方言と共通語／短歌や俳句を楽しもう／5年生で読みたい本／くざり符号の使い方／言葉の木／言葉のまとめ／電子メールで伝え合う／漢字を学ぼう／四下までに学んだ漢字／「ここが大事」のまとめ／学ぶときに使う言葉</p> <p>■五下 「古典」を楽しむ／かなづかいで気をつけること／漢字の広場④ 漢字の成り立ち／「図書すいせん会」をしよう／言葉で伝える、心を伝える／和語・漢語・外来語／漢字の広場⑤ 同じ音の漢字／漢字の広場⑥ 送りがなのきまり／5年生で読みたい本／言葉の木／言葉のまとめ／自分の考えをまとめよう／注意するかなづかい／漢字を学ぼう／五上までに学んだ漢字／「ここが大事」のまとめ／学ぶときに使う言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●『漢字の広場』①②③④⑤⑥は、複合語や、熟語の構成、漢字の成り立ち、送り仮名のきまりなど、漢字を扱ううえで覚えておきたいことを簡潔に示している。幅広い知識と教養を身につける助けとなる。〈第1号〉</li> <li>●『話し言葉と書き言葉』では、話し言葉と書き言葉の特徴を知り、場面に応じて適切に使う言葉のスキルを身につける。言葉への認識を深め、幅広い知識、概念的な思考を身につけることができる。〈第1号〉</li> <li>●『漢文に親しむ』では、人口に膾炙した漢詩や論語の一節を、声に出して読み味わうことで、現代に通じるものの見方を知り、伝統と文化を尊重する態度を育てる。〈第5号〉</li> <li>●『鳥』は、昔から物語や詩歌に登場してきた鳥をテーマに、関連する作品を調べ、集め、読み味わう。人間と鳥の関係が、現代と共通することも異なることもあることを発見し、伝統と文化を尊重する態度を育てる。〈第5号〉</li> <li>●『「古典」を楽しむ』では、『竹取物語』や『平家物語』などの昔から読み継がれている物語を読んだり、能や狂言、人形浄瑠璃、歌舞伎などの伝統芸能の魅力に触れたりすることで、我が国の伝統と文化を育んできた国と郷土を愛する態度を養う。〈第5号〉</li> <li>●『「図書すいせん会」をしよう』では、自分の気に入った図書を推薦する、新聞やポスター、ポップ、リーフレットなどを作成する。図書を紹介する活動によって、自他を敬愛し、社会に積極的に参画する態度を育てる。〈第3号〉</li> <li>●『5年生で読みたい本』①③では、神話・詩・戦争・友情・家族・科学など多岐にわたる分野の図書が一覧でき、幅広い知識と教養を身につける手がかりになる。〈第1号〉</li> <li>●『5年生で読みたい本』②は『アジアの風』をテーマに掲げ、アジアの国々に伝わる昔話を多く紹介し、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を育てる。〈第4号〉</li> <li>●『5年生で読みたい本』④は『環境を考える』をテーマに掲げ、植樹をして海の生物を豊かにする環境作りや、絶滅危惧種の鳥の保護や、地球温暖化で沈む危機にある島国など、環境問題を考える書物を多く取り上げ、環境の保全に寄与する態度を育てる。〈第3号〉</li> </ul>	<p>上 P40-42, P56-57, P66-71, P72-75, P76-78, P106-107, P118-120, P126-129</p> <p>下 P20-27, P30-32, P64-67, P84-86, P108-110, P154-157</p>
思考・判断・表現	<p>■五上 わたしは木 「町じまん」をすいせんしよう 知りたいことを決めて、話を聞こう AIとの暮らし</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●『話すこと・聞くこと』の各教材は、社会形成に参画する基盤となるコミュニケーション力を養う。上巻冒頭に置く『わたしは木』は、身体表現を付随させた連想ゲームで、体を使った、グループによる言語活動を通して自他を敬愛する態度を形成する。〈第5号〉</li> <li>●『「町じまん」をすいせんしよう』は、自分の住む町の自慢したいことを調べて発表したり、話し合ったりする学習である。説得力のある順序立てや、相手の反論を想定して意見を組み立てることで、自ら調べ、幅広い知識と教養を身につける態度を養う。〈第1号〉</li> </ul>	<p>上 P8-9, P58-61, P79-80, P112-117</p>



	図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
思考・判断・表現	<p>話す・聞く</p> <p>■五下 ひみつを調べて発表しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●『AIとの暮らし』では、ミニディベートの形式を用いて、一つのテーマについて異なる観点から意見を出して話し合う学習をする。相手の反論を想定して自分の意見を組み立てることが、調べたり、考えたりする力を高め、幅広い知識と教養を身につける態度を養う。テーマにAI（人工知能）との暮らしを取り上げている。高度に進化したAIが本格的に普及する時代が近づき、暮らしや産業、社会にどのような変化をもたらすかについて、意欲的に調べたり意見を交わすことが期待できる。(第1号)</li> <li>●『ひみつを調べて発表しよう』では、不思議に思っていることを調べて発表する。図表や音声、映像を使って効果的に示す方法を知ること、幅広い知識と教養を身につけることができる。(第1号)</li> </ul>	下 P102-107
	<p>書く</p> <p>■五上 「情報ノート」を作ろう ポスターを作ろう 俳句を作ろう</p> <p>■五下 世界遺産 白神山地からの提言——意見文を書こう 提案文を書こう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●『ポスターを作ろう』では、身のまわりのものや行事をポスターに書く広報活動をする。事物や地域のよさを見直し、伝える相手や目的を意識した書き方を身につけることができ、主体的な社会参画を意識づける。(第3号)</li> <li>●5年生の伝統的な言語文化に親しむ学習として、俳句や短歌の創作を取り上げている。『俳句を作ろう』では、俳句のきまりに加えて、感動したことを言葉にする連想のメモを書く方法を示している。作品例には児童作品をあげ、創作意欲を高めている。続いて短歌のきまりを説明し、創作活動をおいている。(第5号)</li> <li>●『提案文を書こう』では、自分たちの生活をよりよくする目的で取材をし、提案する文章を書く。自分の意見を裏づける理由を、事実に基づいて書くことに教材の重点を置いている。取材と執筆の過程で、正義と責任を重んじて、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができる。(第4号)</li> </ul>	上 P38-39, P62-65, P108-110,  下 P6-19, P74-79
	<p>読む</p> <p>■五上 水平線 うぐいす いつか、大切なところ 新聞を読もう 人とねずみの「はい、チーズ！」 言葉と事実 素朴な琴 鳴く虫 山のあなた 大造じいさんとがん</p> <p>■五下 世界遺産 白神山地からの提言——意見文を書こう 雪わたり はたはたのうた 雪 まんがの方法 みすゞさぎの旅——みんなちがって、みんないい 三人の旅人たち 附子（狂言）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文学作品は、登場人物と一体になって、その行動や感情を体験し、それによって得た感動が、豊かな情操や道徳心を育てる。こうした体験を可能にする作品として『いつか、大切なところ』『大造じいさんとがん』『雪わたり』『みすゞさぎの旅——みんなちがって、みんないい』を選定している。(第1号)</li> <li>●『いつか、大切なところ』では、転校した男の子が、もっていた学校の友達に再会した時に感じた孤独感と、新しい学校で友達ができ、新しい学校を自分の居場所として受け入れる心理を読み、豊かな情操を培う。(第1号)</li> <li>●『大造じいさんとがん』では、狩人とがんの知恵比べを、豊かな情景描写とともに読み味わう。場面の転換や物語のやま場に関心をもたせ、読む力を養える手引きを施し、豊かな情操を育てることができる。(第1号) また、狩人の働く姿を通して勤労を重んずる態度を養うことができる。(第2号)</li> <li>●『雪わたり』は、雪国の夜、狐が幻灯会に子どもたちを招待し、交流する物語で、生命を尊び、自然を大切にすることを学ぶ。(第4号)</li> <li>●『みすゞさぎの旅——みんなちがって、みんないい』は童謡詩人金子みすゞ作品を求め、発見するまでを綴ったノンフィクションで、真理を求める態度を養う。(第1号)</li> <li>●『新聞を読もう』では、新聞紙面の記事の構成を知り、さらに、同じ話題でも新聞社によって扱いが違うことを知り、読み方のリテラシーを身につける。幅広い知識と教養を身につける助けとなる。(第11号)</li> <li>●説明的な文章の教材として『人とねずみの「はい、チーズ！」』『言葉と事実』『世界遺産 白神山地からの提言——意見文を書こう』『まんがの方法』を取り上げている。説明的な文章を読解することにより、論理的な思考力を養い、知識・教養を身につける。(第1号)</li> <li>●『人とねずみの「はい、チーズ！」』は、同じ「はい、チーズ！」という言葉、人とねずみが異なる受け取り方をすることをイラストで表現し、解説を加えている。非言語と言語の読み書きの間を行き来して、考える方法を理解し、豊かな情操を培うことができる。(第1号)</li> <li>●『言葉と事実』では、学級新聞の記事の構成や、商品のタグを例に、作成者の立場や意図によって表現が変わることを知る。事実と表現と意図に注意して、情報に接することが必要だと気づくことで、真理を求める態度を養う。(第1号)</li> <li>●『世界遺産 白神山地からの提言——意見文を書こう』では、広大なブナの森を残すことができた理由を知り、人間と自然の関わり方を学ぶ。自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことができる。(第4号) また、白神山地で働くマタギや研究者の言葉に接することで、勤労を重んずる態度を養う。(第2号)</li> <li>●『まんがの方法』では、世界への文化発信に大きな位置を占めるようになったまんがの表現方法を知る。コマ割りや、吹き出し、表情、背景など、まんが特有の表現を豊富な実例を添えて説明している。まんがの表現方法への理解は、まんが文化を育てた我が国の文化を愛し、翻訳された日本のまんがを享受する他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。(第5号)</li> <li>●付録の狂言『附子』は、せりふで構成された親しみやすい古典として楽しく読むことができる。舞台写真や図を豊富に挿入し、伝統芸能に親しめるよう配慮している。(第1号)</li> <li>●豊かな情緒の育成に資するよう、鑑賞詩を冒頭に置いている。『水平線』は、「水平線」をテーマに、飽くなき未来志向にふさわしい作品であり、『うぐいす』は、間の取り方や声の強弱に気をつけて音読して、新学期への期待と緊張感を重ねて味わうことができる。(第1号)</li> <li>●『素朴な琴』『鳴く虫』『山のあなた』は、音を題材とする二編と、文語詩を組み合わせている。友達と声を出し合い、聞き合うことで、豊かな情操を育てることができる。(第1号)</li> </ul>	上 P14-31, P32-37, P44-45, P46-55, P82-84, P86-105  下 P6-19, P34-63, P72-73, P88-101, P112-131, P134-143, P144-153

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

本教科書は、教育基本法に示された義務教育の目的や、学校教育法に示された義務教育の目標などを達成するために、特に以下の点に意を用いて編修しています。

#### ユニバーサルデザインへの配慮

学びに向かう力を大切に、できるだけ図や表、写真や絵を用いて、学習内容が端的につかめるように教材の構成や紙面をデザインしています。

##### ◇特別支援

特別支援が必要な学習者への配慮として、全体を通しての統一感や一体感、読みやすさ、わかりやすさを意識したレイアウト、安心感と安定感のある色づかい、トーンバランスを心がけ、フォントには、ユニバーサルデザインに配慮した、新しい教科書体を使用しています。

##### ◇カラーユニバーサル

色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などの工夫により、全ての児童にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

##### ◇多様性への理解・パラリンアート

社会の多様性にふれ、さまざまな人々と共存・共生しているという実感を得られるような教材を選ぶとともに、障がいのある人が描いた作品（障がい者アート）を教科書に掲載することにより支援する、「パラリンアート」の活動にも取り組んでいます。

##### ◇地球となかよし

教科書印刷に、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への負荷軽減に配慮しています。

##### ◇分冊による軽量化

子どもの身体の発達状況を考慮して、全学年を分冊とし、1冊あたりの重量が軽い教科書にしています。分冊としたことにより、全体のページを増やし、単元とびらやてびき、付録を充実させています。

#### 他校種・他教科との連携

##### ◇小中の接続

第5・6学年では、中学校国語との接続も意識し、焦点を絞った見方で全体を捉えて課題を解決できる（重点化・焦点化）力を身につけられるような単元や教材の構成も取り入れています。

##### ◇教科間の連携

中・高学年では、他教科と同じテーマについて、国語科としての見方・考え方を働かせることによって、論理の展開や思考の組み立てなど、学びの基礎を育む構成にしました。

###### \*学習する内容の連携

同じ教材や題材、学習内容を、他教科と連携して扱えるような工夫をしています。

・金子みすゞ（＝音楽） ・『七つの子』（＝音楽） ・AI（＝社会）

###### \*教科を横断したテーマの設定

学習指導要領で重視されているテーマを、教科横断的に扱えるようにしています。

###### \*育てたい資質・能力の連携

各教科で扱える以下のような資質・能力を、教科書の中で育めるように意識しました。

- ①言葉で表す力（言語的リテラシー）
- ②自ら考える力（論理的思考力・問題発見解決能力・メタ認知力）
- ③共に学ぶ力（人間関係形成力）

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-149	小学校	国語科	国語	第5学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	国語 505 国語 506	ひろがる言葉 小学国語 五上 ひろがる言葉 小学国語 五下		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

言葉による「見方・考え方」を豊かに育み、意味ある言語活動を通して、言葉の力としての「資質・能力」を身につけていくため、学習指導要領の各内容を最大限に生かす単元、およびその学習過程を設定し、次のような、学び手や教師が手に取って使いたくなるような教科書となることを目指しました。

- ・何をどのように学び、何ができるようになったのかがわかる教科書
- ・主体的・対話的な学びを促す言語活動を通して、深い学びを実現する教科書
- ・言葉を学ぶことの楽しさを実感できる教科書
- ・感動する教材と出会い、言葉に対する感性を磨くことができる教科書
- ・現代社会の今日的課題と同期する教科書
- ・優れた言語文化にふれて、日本人としての豊かな心を育む教科書

### 単元構成

・教科書全体を、形式を整えることにとらわれることなく、**学習の目標と活動が最大限にいけるような構成**にしました。

・各教材の特性を生かすため、**単独の教材で単元にしたり、複数教材を組み合わせて領域融合的な単元としたり**して、多様な単元の構成としました。

⇒『大造じいさんとがん』(五上)・『雪わたり』(五下)

⇒「伝わるように構成を考えよう」(五上)

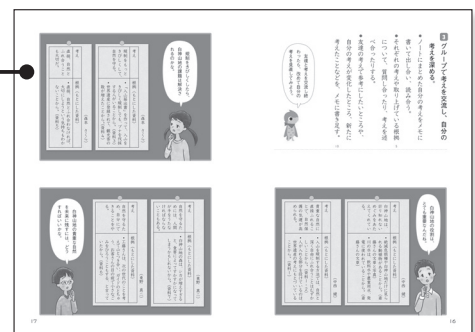
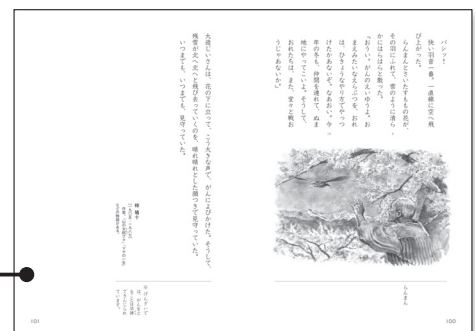
「多様な情報を読み、根拠となる資料にもとづいて、考えを深めよう」(五下)

『「マンガの方法」とその効果について、自分の考えをもとう』(五下)

・学習の流れをふまえ、**知識・技能の向上に活用**できるよう、単元と単元の間に小単元的な教材を配置しました。

⇒『敬語』(五上)・『かなづかいで気をつけること』(五下)

『「図書すいせん会」をしよう』(五下)

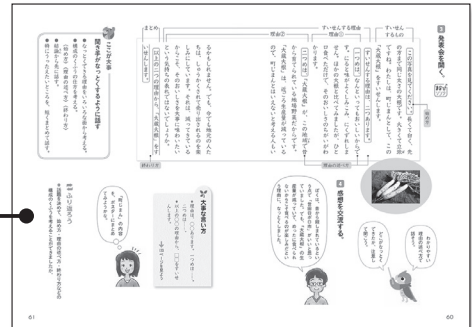


- ・各学校でのカリキュラム・マネジメントに資するよう、柔軟に扱える教材を配しました。  
⇒『「情報ノート」を作ろう』(五上)  
『漢字の広場 ① 漢字学習ノート』(五上)

### 単元内容

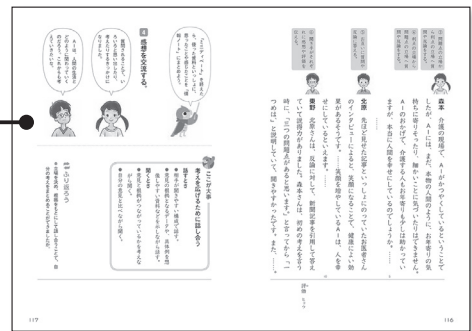
- ・学習過程を明確にした教材を配置するとともに、**重点的に扱う学習の過程を設定して**、知識・技能を効率よく学べるようにしました。その一方で、学んだ知識や技能が、**生活のさまざまな場面で生きて働く力**となるための配慮も行っています。

⇒『「町じまん」をすいせんしよう』(五上)  
『ポスターを作ろう』(五上)



- ・多様で活発な言語活動で、「言葉の力」を高めることができるように配慮しました。

⇒『AIとのくらし』(五上)



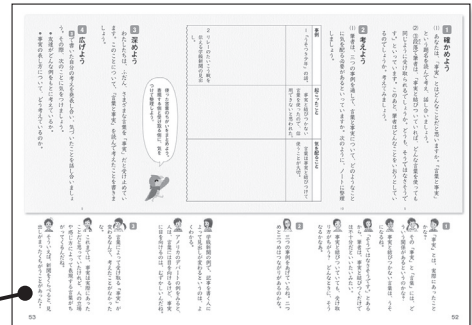
- ・確実に身につけたい「言葉の力」については、各教材の「**ここが大事**」に端的にまとめています。

### 主体的・対話的で深い学びのために

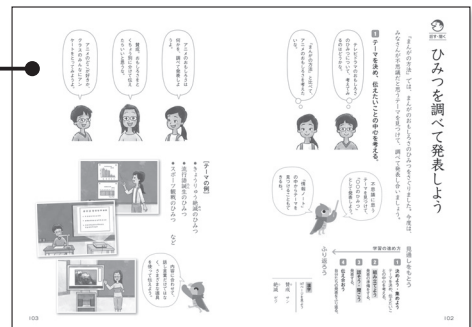
- ・学習者が主体的に学習に取り組み、また自学もできるように、**学習の課題をわかりやすく可視化**する工夫を取り入れました。

- ・「学習のてびき」では、身につけたい言葉の力に対して**適切な言語活動**を設定するとともに、言語活動そのものが、**自ら課題を見つけ、それを解決する過程**となり、深い学びに結びつくことを意識して構成しています。

⇒『言葉と事実 (学習のてびき)』(五上)



- ・親しみやすいキャラクター等を用いて、**学習者の思考の深まりを支援し、主体的、対話的な学びへの道筋**をつけています。





## 見通しをもったり、振り返ったりするために

・教科書巻頭の「五年生で学ぶこと」と学年末の「国語の学習 これまでこれから」により、1年間の学びの見通しと振り返りができるようにしています。

・「単元とびら」により、学習への意欲を喚起し、その単元に積極的に取り組もうとする姿勢を促します。



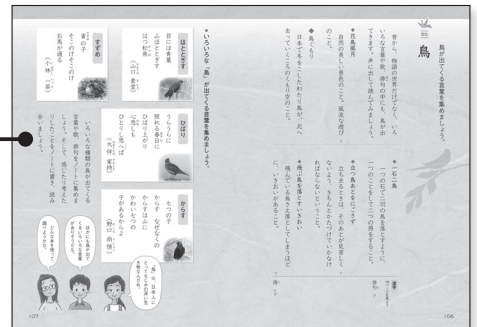
## 言語文化を継承し、担い手になっていくために

・日常生活の中で、言語文化を意識したり、見直したりできるように配慮しました。

⇒『素朴な琴』・『山のあなた』(五上)  
『鳥』(五上)・『「古典」を楽しむ』(五下)  
『短歌や俳句を楽しもう』(五上)

・言語文化をただ受け取るだけでなく、その担い手となる自覚をもてるように活動的教材を配しました。

⇒『俳句を作ろう』(五上)



## 語彙を増やし、情報を適切に扱う

・語彙を質、量ともに充実させる教材を拡充しました。また、情報の扱い方に関する教材を配置しています。

⇒『言葉の木』(五上下)・『言葉のまとめ』(五上下)

## 他教科との関連、基礎教科としての位置づけ

・国語は言葉の働きについて学ぶ教科であるということを意識して、全ての教科の基礎となる言葉の知識・技能を明確に示しました。

・他教科の学習との関連にも配慮しています。

⇒『ポスターを作ろう』(五上)

・調べ学習など、他教科への学習の広がりを意図した教材も配置しました。

⇒『新聞を読もう』(五上)





## 2. 対照表

教材名	学習指導要領の内容		該当箇所	配当時間
	知識・技能	思考・判断・表現		
五上				
言葉で伝え合おう わたしは木 水平線 うぐいす	(1)ア  (1)ク, ケ	A(1)エ A(2)ア  C(1)エ C(2)イ	P8-9 P10-11 P12	2 (話聞2)  1
一 くふうされた表現をもとに、登場人物のしんじょうを そうぞうして読もう いつか、大切なところ	(1)ク	B(1)ウ B(2)イ C(1)イ, エ C(2)イ	P14-31	8 (書<2)
新聞を読もう	(2)イ	B(1)ウ B(2)ア C(1)ア C (2)ア, ウ	P32-37	4 (書<1)
「情報ノート」を作ろう	(1)オ (2)ア	B(1)ア B(2)ア	P38-39	3 (書<3)
漢字の広場 ① 漢字学習ノート	(1)ウ, エ		P40-41	1
四年生で学んだ漢字 ①	(1)エ	B(1)イ B(2)ア	P42	1 (書<1)
二 事例と解説をもとに、言葉と事実との関係を考えよう 人とねずみの「はい、チーズ！」 言葉と事実	(2)ア (2)ア	C(1)ウ C(2)ア B(1)ウ B(2)ア C(1)ア C (2)ア	P44-45 P46-55	1 8 (書<2)
話し言葉と書き言葉	(1)イ	A(1)イ A(2)ウ B(1)ウ B (2)ア	P56-57	2 (話聞1, 書<1)
三 伝わるように構成を考えよう 「町じまん」をすいせんしよう ポスターを作ろう	(2)イ (1)イ	A(1)ア, イ A(2)ア B(1)イ, ウ, エ, オ B(2)ア	P58-61 P62-65	4 (話聞4) 5 (書<5)
漢文に親しむ	(1)ケ (3)ア	B(1)ウ B(2)ア	P66-71	3 (書<1)
敬語	(1)キ		P72-75	2
漢字の広場 ② 複合語	(1)オ		P76-77	1
四年生で学んだ漢字 ②	(1)エ	B(1)イ B(2)ア	P78	1 (書<1)
知りたいことを決めて、話を聞こう	(2)イ	A(1)エ A(2)イ	P79-81	2 (話聞2)
◆詩を味わおう 素朴な琴 鳴く虫 山のあなた	(1)ク (3)ウ	C(1)エ C(2)イ	P82 P83 P84	2
四 物語の全体像をとらえ、やま場の場面を見つけて読もう 大造じいさんとがん	(1)オ	B(1)ア, ウ B(2)イ C(1)エ C(2)イ	P86-105	8 (書<2)
鳥	(1)オ	B(1)ア B(2)ア	P106-107	1 (書<1)
俳句を作ろう	(1)オ	B(1)ア B(2)イ	P108-111	4 (書<4)
五 考えを広げるために、立場を決めて話し合おう A I とのくらし	(2)ア	A(1)オ A(2)ウ	P112-117	6 (話聞6)
漢字の広場 ③ 熟語の構成	(1)オ		P118-119	1
四年生で学んだ漢字 ③	(1)エ	B(1)オ B(2)ア	P120	1 (書<1)
方言と共通語	(3)ウ		P121	
五下				
一 多様な情報を読み、根拠となる資料にもとづいて、考 えを深めよう 世界遺産 白神山地からの提言——意見文を書こう	(2)ア	B(1)ウ B(2)ア C(1)ウ, オ C(2)ア	P6-19	10 (書<5)
「古典」を楽しむ	(3)イ	B(1)ウ B(2)ア	P20-27	4 (書<1)
かなづかいで気をつけること	(1)ウ		P28-29	2

漢字の広場 ④ 漢字の成り立ち	(3)ウ		P30-31	1
四年生で学んだ漢字 ④	(1)エ	B(1)オ B(2)ア	P32	1 (書<1)
二 表現の効果を考えながら、登場人物の関わりをとらえて読もう 雪わたり	(1)ク	B(1)ウ, カ B(2)ア C(1)エ, カ C(2)イ	P34-63	6 (書<1)
「図書すいせん会」をしよう	(3)オ	B(1)ア, ウ, エ, カ B(2)ウ C(1)カ C(2)イ, ウ	P64-67	5 (書<2)
言葉で伝える, 心を伝える	(1)ア (2)ア	A(1)エ, オ A(2)ウ	P68-71	3 (話聞1)
◆詩を味わおう はたはたのうた 雪	(1)ク (3)ウ	C(1)エ C(2)イ	P72-73	1
三 事実と意見を結びつけて書こう 提案文を書こう	(1)カ	B(1)ウ, オ, カ B(2)ア	P74-79	6 (書<6)
和語・漢語・外来語	(3)ウ		P80-83	2
漢字の広場 ⑤ 同じ音の漢字	(1)ウ		P84-85	1
四年生で学んだ漢字 ⑤	(1)エ	B(1)イ B(2)ア	P86	1 (書<1)
四 「マンガの方法」とその効果について、自分の考えをもとう マンガの方法	(1)オ (2)イ	B(1)ウ B(2)ア C(1)ウ, オ C(2)ア	P88-101	5 (書<1)
ひみつを調べて発表しよう	(2)イ	A(1)イ, ウ A(2)イ	P102-107	5 (話聞5)
漢字の広場 ⑥ 送りがなのきまり	(1)ウ		P108-109	1
四年生で学んだ漢字 ⑥	(1)エ	B(1)オ B(2)ア	P110	1 (書<1)
五 みすゞをさがし求めた筆者について、考えをまとめよう みすゞさがしの旅——みんなちがって、みんないい	(1)カ	B(1)ア, ウ, カ B(2)ア C (1)イ, オ C(2)イ	P112-131	5 (書<1)
国語の学習 これまで これから	(1)カ	A(1)ア A(2)ア B(1)ア B (2)ア	P132-133	2 (話聞1, 書<1)